

## 首都圏広域地方計画(構成案)

### 第一部 首都圏広域地方計画の基本的考え方

#### 第一章 首都圏を取り巻く現状と地域特性

※ブロックが持つ地理的、経済社会的、文化・歴史的条件等における地域特性を明らかにする。  
人口、産業、地域資源の状況等の地域の現状に関する客観的なデータの整理・分析を行うとともに、都市の立地状況や様々な生活サービスの提供状況 等に係る圏域 内の地域構造の分析を行うことにより、首都圏の強み及び弱みが如何に存しているかを示し、首都圏の地域特性を明らかにする。

※各節として、「地勢」「人口」「産業」「地域資源(観光・自然環境・緑地・水資源・エネルギー等)」「医療・福祉」「国際的な人流・物流」「情報通信」「過密地域の渋滞問題等」「地域公共交通」「社会資本」「地球環境問題」「リサイクル(静脈物流)」「沿岸域」「景観」「交流・連携・互恵」などを記述。

#### 第二章 首都圏の果たすべき役割と目指すべき方向

##### 第一節 首都圏の果たすべき役割

※世界、東アジア、全国的な視点から首都圏が果たすべき役割に対する認識を記述。

- ・日本全体を牽引する成長エンジン  
(経済・産業・学術・情報等の巨大集積、国内農業生産の一大拠点)。
- ・首都機能を有する圏域であり、世界に対する日本の顔(政治・文化・歴史・環境などの様々な分野での情報発信・交流・貢献の場)。
- ・豊かで多様なライフスタイルが実現できる先進モデル圏域(首都圏は日本の縮図、様々な主体による多様な生活の実現可能性が最も高く、国土の国民的管理のトップランナーとなるべき圏域)。 等

※首都圏が単独で持続可能な地域ではなく、圏域内及び他圏域との互恵関係で首都圏が成り立っているということも記述。

##### 第二節 新たな首都圏の目指すべき方向

※全国的な視点からみた首都圏の役割を踏まえ、どのような圏域を目指すのか記述。

※首都圏の圏域構造を踏まえて各地域の特性と相互依存関係等を多角的に分析し、それぞれの地域が、首都圏全体として発展するために目指すべき方向を示す。

- 1 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化
- 2 人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域づくり
  - ・働きやすい地域づくり
  - ・新たなライフスタイルの創出
- 3 安全な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理
  - ・安全で安心な地域社会の構築(自然災害、危機管理、安全保障)
- 4 環境の整備と保全
  - ・美しく良好な環境と共生する圏域  
(地球温暖化、循環型社会、自然環境、水循環、海洋 等)
- 5 交流・連携・互恵

などの論点に対する考え方を記述。

→「キャッチフレーズ(例:「ゆとりある」、「美しい」、「豊かさを実感出来る」、「元気な」、「暮らしやすい」、「愛される」、「あきらめない」首都圏)

## 第三章 新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略

### 第一節 日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化

テーマ1 国際競争力の源泉となる産業・業務の集積とイノベーションの創出  
・地域クラスター間の連携ネットワークの構築 等

テーマ2 国際ゲートウェイの強化  
・太平洋・日本海ダブルゲートウェイ機能の強化 等

テーマ3 円滑な物流・人流に資する交通ネットワーク体系の構築  
・空港、港湾及び物流拠点等を結ぶ交通ネットワークの構築 等

### 第二節 人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域づくり

テーマ1 暮らしやすく活力あふれる美しい都市圏及び地域の形成  
・地域資源や景観を活かしたまちづくり推進  
・首都圏の顔づくり  
・ニュータウン再生 等

テーマ2 東京、大都市圏特有の課題への対応  
・密集市街地緊急整備  
・大都市部における通勤混雑・渋滞緩和に向けた交通網・公共交通網の連携による都市再生  
・都市農業の推進 等

テーマ3 地方都市、中山間・離島地域特有の課題への対応  
・人口減少・少子高齢化時代に適合したコンパクトなまちづくり推進  
・農林水産業の強化及び生活環境・居住環境の改善 等

### 第三節 安全な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理

テーマ1 災害に対する脆弱性への対応  
・地震・風水害・火山災害対策 等

テーマ2 危機管理に対する脆弱性への対応  
・国際化の進展に対応した危機管理体制の強化 等

### 第四節 環境の整備と保全

テーマ1 自然環境の保全・再生  
・農地・森林の整備、保全  
・生態系保全・再生の推進  
・首都圏緑化戦略 等

テーマ2 地球温暖化対策の推進  
・未利用エネルギー(下水道処理時の廃熱、地熱発電等)の活用促進  
・モーダルシフトの推進、グリーン物流パートナーシップ推進事業、物流拠点の集約化  
・低公害車の普及促進、自転車利用を促進 等

テーマ3 海岸域管理(東京湾等)の充実  
・閉鎖性水域再生 等

テーマ4 大気汚染対策等の推進  
・TDM、ITS等交通対策の推進、

テーマ5 循環型社会の構築  
・首都圏廃棄物等リサイクル・ゴミゼロ社会構築  
・首都圏廃棄物不法投棄防止対策 等

### 第五節 交流・連携・互恵

テーマ1 観光交流の促進  
・首都圏観光交流連携 等

テーマ2 地域間交流・連携の推進  
・二地域居住等の推進 等

テーマ3 多文化共生社会の実現  
・国際共生型社会環境整備 等

テーマ4 「新たな公」への取り組み  
・多様な民間主体の活動・発意を基軸とした地域づくり推進 等

## 第二部 分野別施策と主な関連事業

## 第1、第2回有識者懇談会において「首都圏の目指すべき方向」

### について各委員から頂いたご意見」(要旨)

#### 1 「日本全体を牽引する首都圏の国際競争力の強化」に係るご意見

- ・東アジアの最大中心都市として魅力の向上、交流企画の拡大  
(アジア主要都市との日帰り圏の形成、ビジネスのしやすい世界都市)
- ・羽田・成田の制約への対応、空港容量の拡大
- ・茨城・横田は、羽田・成田の補完、利便性向上
- ・港湾・空港の整備・強化、アクセス・コストとスピードの強化が肝要
- ・首都圏の国際交通ネットワークの充実(港湾(京浜+常陸那珂+新潟+清水)、空港)
- ・太平洋側港湾と日本海側港湾の活用
- ・圏央道整備等による広域的な生産・物流圏
- ・企業集積を生かし、地元企業への技術移転などイノベーション創出

#### 2 「人口4千万人が暮らしやすく、美しい地域づくり」に係るご意見

- ・川と共に生きるまちづくり
- ・質の高い農業、顔が見える関係の構築
- ・都市と農山村の経済循環の形成・拡大
- ・農業・農山村の含む積極的な共生・管理
- ・農山村資源を観光資源として活用
- ・地域観光ビジネスの確立(観光産業を通じて地域の課題を解消)
- ・自然に恵まれた郊外住居へのニーズは底堅い→郊外住宅地の再生(ガーデンシティ化)
- ・郊外の暮らしを都会に持ち込まない
- ・都市一住宅一福祉をつなげた空間の形成
- ・物理的資源や人的資源をつなげる「社会関係資本」の質の向上
- ・道路、都市鉄道ネットワークの質的充実、地方都市の公共交通体系の抜本対策

#### 3 「安全な生活が保障される災害等に強い国土管理・危機管理」に係るご意見

- ・災害に強く環境負荷の低い流域圏の構築
- ・郊外という空間の再生(河川・斜面地などの危険地域からの計画的な撤退)
- ・国土資源を使用し災害から国土を守る「自然と折り合いをつけながら生きるアジア型の国土と国民」関係構築
- ・農山村地域、特に農林地と河川の保全、管理
- ・首都圏臨海部の災害(地震)対策

#### 4 「環境の整備と保全」に係るご意見

- ・あきらめない首都圏域の環境と暮らし
- ・地球上の三大経済都市圏の一つとして、地球の環境への貢献
- ・河川の有効活用→環境保全と戦略的活用
- ・郊外という空間の再生(里山・里川、原っぱの再生)
- ・資源リサイクル推進対策

#### 5 「交流・連携・互恵」に係るご意見

- ・愛される首都圏域
- ・日常生活と非常時生活を念頭に平時の協力・連携
- ・日本の首都圏として、地方との連携強化
- ・観光は地域が他地域に目を向けるすべての入り口
- ・国土感とコミュニティ感が異なる人たちで一緒に考える国土